

Introduction to

# Focus & Collaboration



企画: 株式会社 岡村製作所

Quiet revolution プロジェクトチーム

発行日: 2014年9月

発行: 株式会社 岡村製作所 オフィス研究所

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート10階

お客様サービスセンター ☎0120-81-9060

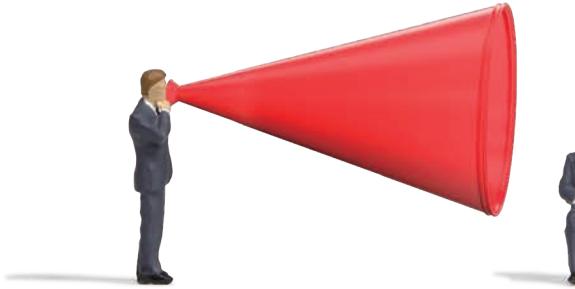
受付時間 / 9:00~17:20(土・日・祝日、年末年始を除く)

okamura

禁・無断転載

YONB62-491 P.HD '14-09

okamura



## じゃまするも“上司”、助けるも“上司”

「よし、この時間はこれに専念するぞ！」と気合いを入れて仕事開始。そんなときに限って、人から声をかけられたり、電話がかかってきて中断を余儀なくされるもの。とあるアンケート調査(P.02)では、こうした声掛けや電話で仕事のじゃまをする人として“上司”的な名前が一番に上がっています。

仕事をじゃまをしているのは誰… “上司” 73%

そんな可哀想な“上司”ですが、別の質問からわかったのは、有効なアイデアや気づきを与えてくれて、ピンチに陥ったときには最も頼りになるのもまた上司だということでした。仕事に専念する時には少々じゃまに感じることがあっても、やはり、協働する上では力になってくれる存在ですね。

仕事を促進しているのは誰… “上司” 81%

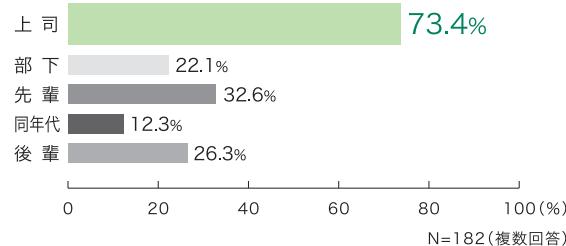
この調査では上司がクローズアップされました、これはあくまでも一例。働く環境をつくる上で大切なのは、上司や同僚など「人」との関わり方を見つめること。人にじゃまされずに仕事するための環境、あるいは人と協働するための環境をどう創ればいいのか、一緒に考えてみましょう。

## じゃまするのも、促進するのも結局は“人”

### 仕事を「中断」する要素について

Q. 中断を余儀なくされ困るのは誰からの声掛け(電話も含む)が多いですか?

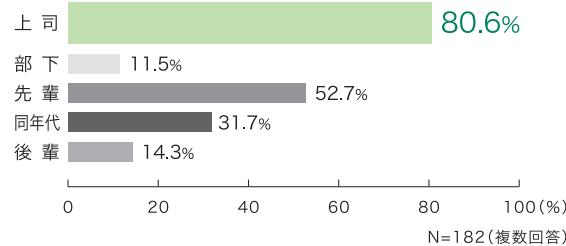
Q. 個人作業や打ち合わせをしているとき、まわりから聞こえてくる会話で最も気になるのは誰の声ですか?



### 仕事を「促進」する要素について

Q. 仕事でピンチに陥ったとき頼りになる存在は誰ですか?

Q. 仕事を効率的に進めるやり方や、有効なアイデアや気づきを与えてくれる存在は誰ですか?



※岡村製作所オフィス研究所  
「仕事の生産性に影響を与える要素に関するアンケート」  
(2014年7月)調査結果より

# 人からじゃまされず、 人とつながる環境づくりを考える

では、そのためにはどのような視点が大切になるのでしょうか。

ここで登場するのがFocus & Collaborationという考え方です。

## ひとりの仕事はじゅまされない環境で

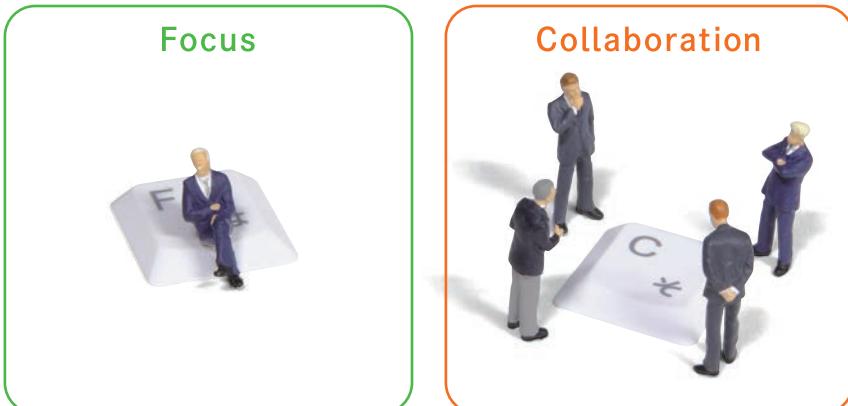
オフィスの中で私たちは、ひとりでPC作業をしたり、ひとりで考えをめぐらせたりします。また、他の人と重要な確認作業を行うこともあります。こうした集中力を求められる仕事では他からじゃまされない環境が必要です。

⇒ Focus ※Focusには【専念する、集中する】という意味があります。

## チームにはより緊密でより広いつながりを

また、私たちは、何人かで集まって情報交換したり、ディスカッションを行うことで、各人の知識や見識をバージョンアップさせ、チーム全体の力を高めています。人と人とのつながりを育む環境はとても大事です。

⇒ Collaboration ※Collaborationには【協働する、連携する】という意味があります。

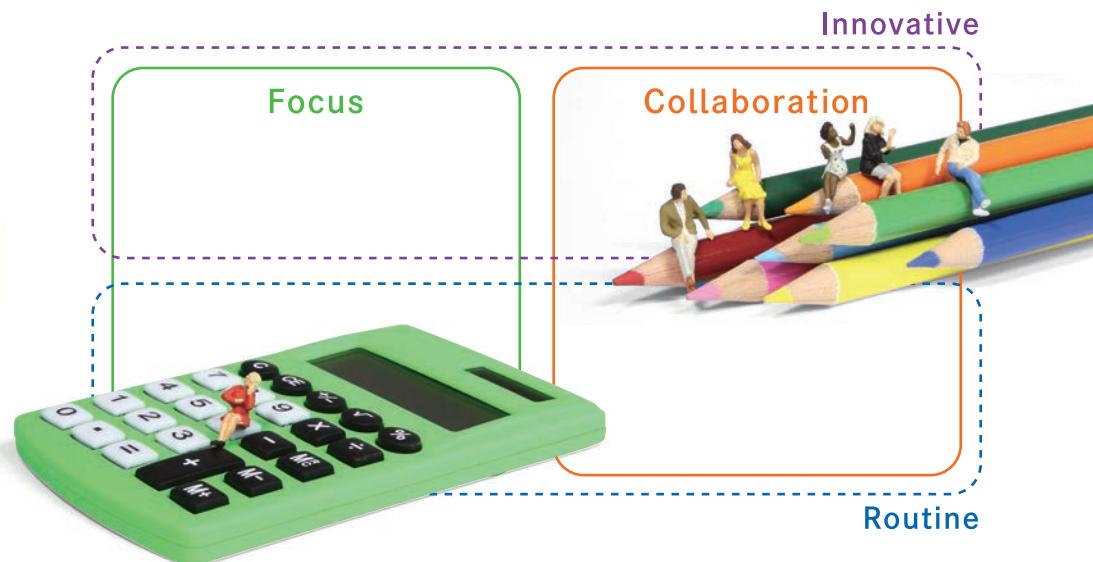


## ひとりでもチームでも、仕事は大きく二種類

「Focus=個人作業」と「Collaboration=チーム作業」のほかに、オフィスの仕事には、それぞれに定型的な業務(見積作成、伝票処理、報告書作成など)と、将来のビジネスを生む創造的な業務(企画、プレスト、人的交流など)があります。いわば今の飯のタネと将来の飯のタネ。どちらも大切ですね。

## もっと速く正確に、もっとクリエイティブに

定型的な業務に求められるのは、「より速く正確に」という効率性の向上。一方、創造的な業務では、「より自由に」という動機づけが大切です。定型業務をいかに効率よくこなし、創造的業務をより実りあるものにできるか。こうした視点も、よりよい働き方と働く環境づくりには必要になります。



# Focus & Collaboration、それは 「個人力とチーム力の最適バランス」

「ひとりの仕事」「チームで行う仕事」という視点に、「創造的な業務」「定型的な業務」を加えると、必要な空間は、例えばこのような感じになります。

これらの多様な空間をバランスよく整備することが、個人の力とチームの力をともに高め、新しい価値を生み出していく環境づくりのポイント。オカムラはお客さまと一緒に、よりよい働き方と環境づくりを考えてまいります。

Innovative

Focus

## 心を解放する個別空間

ひとりで特定のテーマについて熟考したり、自由にアイデアを発想する創造的な仕事には、自席や会議室ではなく、心も身体も解放されるような個人用に特化した空間が適しています。



## じゃまの入らない個別空間

期日通りに確実に仕上げなくてはならない数々の定型業務。他の人からの声掛けや電話といったじゃまが入らず業務に専念できる個人用の空間に移動して、テキパキこなしたいものです。



Collaboration

## 周囲に開かれた協働空間

チームメンバーや、普段は交流のない人たちとの何げない会話から、新しい知識や仕事のヒントを得ることができます。そうした創造のきっかけをつくる開かれた空間も大切です。



## 情報を迅速に共有する空間

会議室を予約しないと打ち合わせが始まらないなんて意味がない。自席に比較的近い場所に、気軽にミーティングできる空間があれば、同僚とのちよつとした確認や、情報共有が即座にできます。



Routine